

国語Ⅰ・国語Ⅱ

(解答番号)

1

〜

35

《注意》

「国語Ⅰ」の試験問題は、

3ページ〜38ページです。

第 4 問

次の文章を読んで、後の問い(問1〜6)に答えよ。(設問の都合で送り仮名を省いたところがある。)(配点 50)

鮑叔固已識管仲於微時。仲相齊、叔薦之也。仲既相内

修政事、外連諸侯。桓公每質之鮑叔。鮑叔曰、公必行夷吾

之言。叔不惟薦仲、又能左右之。如此真知己也。

及仲寢疾、桓公詢以政柄、所屬且問鮑叔之為人。対曰、

鮑叔君子也。千乘之國、不以其道予之、不受也。雖然、其為

人好善而惡惡已甚、見一惡、終身不忘、不可以為政。仲不

幾負叔乎。不知此正所以護鮑叔之短、而保鮑叔之令名。

也。叔之知仲、世知之、孰知仲之知叔之深如是耶。

曹參微時、与蕭何善。及何為宰相、与參隙、且死、推賢

惟^ダ参^ノ参^ノ聞^{キテ}亦^ヤ趣^{カニ}治^メ行^ヲ吾^ト且^ニ入^{リテ}相^ト使^ト者^ヲ果^ク召^{シテ}参^ヲ参^ヲ又^セ属^{ルヤ}其^ノ後^ヲ

相^ヲ悉^ク遵^ニ何^ノ約^ニ束^ニ無^シ所^ニ變^ス更^ス此^ノ二^ノ人^ノ事^ヲ与^ニ管^ノ鮑^ノ相^ト反^ス而^{シテ}実^ハ相^ト

類^ス

(張燧『千百年眼』による)

(注)

- 1 鮑叔——春秋時代の齊の重臣。管仲との交友関係は「管鮑の交わり」として知られる。
- 2 管仲——齊の宰相。
- 3 微時——身分の低いとき。
- 4 桓公——齊の君主。
- 5 夷吾——管仲のこと。
- 6 千乘之国——兵車千両を出すことのできる大国。
- 7 曹参——前漢の第二代宰相。
- 8 蕭何——前漢の初代宰相。
- 9 隙——すきま。仲たがい。
- 10 治行——旅行の支度をする。
- 11 約束——とりきめ。法令。

問 1 波線部(a)「質」・(b)「負」の読み方として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解

答番号は

27

28

(a) 質

27

⑤ ④ ③ ② ①

せむ ただす ちかふ あたふ すすむ

(b) 負

28

⑤ ④ ③ ② ①

にくま たのま おは まけ そむか

問 2 傍線部(ア)「政柄」・(イ)「為人」の意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選

べ。 答番号は

29

30

(ア) 政柄

29

⑤ ④ ③ ② ①

政策の是非 政治の実権 政権の委譲 政界の利権 政局の行方

(イ) 為人

30

⑤ ④ ③ ② ①

性格 短所 習癖 実績 評判

問3 傍線部A「叔不_レ惟薦_レ仲、又能左右之_レ如此」・B「不_レ以_レ其道予_レ之不_レ受也」の解釈として最も適当なものを、

次の各群の①く⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 31 ・ 32。

A 叔不_レ惟薦_レ仲、又能左右之_レ如此 31

- ① 鮑叔は管仲を宰相に推薦しただけでは心配で、このように自らもまた桓公を通して政治に関与していたのである。
- ② 鮑叔が管仲を宰相に推薦しただけではなく、このように管仲もまた鮑叔のことを気づかうことができたのである。
- ③ 鮑叔は管仲を宰相に推薦しただけでは心配で、このように管仲が道を踏みはずさぬように導いてもいたのである。
- ④ 鮑叔が管仲を宰相に推薦しただけではなく、このように管仲もまた鮑叔と権力をわけあうことができたのである。
- ⑤ 鮑叔は管仲を宰相に推薦しただけではなく、このように見えないところでうまく管仲を補佐してもいたのである。

B 不_レ以_レ其道予_レ之不_レ受也 32

- ① 経緯を明らかにしなくては、与えたものですら受け取らない。
- ② 規範を示さなければ、与えたものを受け取る気を起こさない。
- ③ 大義がなければ、与えたところで受け取るうとはしない。
- ④ 主義に合致していなければ、与えても受け取るすべを知らない。
- ⑤ 方法を知らないままでは、与えたものを受け取るうとはしない。

問 4 傍線部 C「不_レ可_ニ以_レ為_レ政」とあるが、管仲はなぜそう言ったのか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 33。

- ① 鮑叔は好き嫌いが激しく、度量が小さいから。
- ② 鮑叔は不正を嫌うあまり、融通がきかないから。
- ③ 鮑叔は行動を慎みすぎて、積極性に乏しいから。
- ④ 鮑叔は名誉を求めるのに急で、忍耐力に欠けるから。
- ⑤ 鮑叔は過去にとらわれて、革新的でないから。

問5 傍線部D「叔之知仲世知之、孰知仲之知叔之深如^レ是耶」とあるが、筆者の主張を説明したものとして最も
適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 34。

- ① 管仲と鮑叔の友情は世によく知られているけれども、政治に不向きであるという鮑叔の短所を長所に変えるすべを、管仲が桓公に伝えていたことまでは知られていない。
- ② 管仲と鮑叔の友情は世によく知られているけれども、鮑叔が不向きな政治にかかわって彼の功績を傷つけることのないよう、管仲が配慮していたことまでは知られていない。
- ③ 管仲と鮑叔の友情は世によく知られているけれども、千乗の国を治めうるほどの鮑叔の才能を管仲がねたんで、後継者として鮑叔を推薦しなかつたことまでは知られていない。
- ④ 管仲と鮑叔の友情は世によく知られているけれども、管仲が鮑叔の短所を補って、彼の立場が悪くならないようにつねづね配慮していたということまでは知られていない。
- ⑤ 管仲と鮑叔の友情は世によく知られているけれども、管仲が鮑叔の長所を熟知したうえで、宰相の選任という国家の大事に適切に対処したことまでは知られていない。

問 6 傍線部 E「此二人人事、与管鮑相反、而実相類」とはどういうことか。それを具体的に説明したものと最も適當なものを、次の ① ～ ⑤ のうちから一つ選べ。 解答番号は 35。

- ① 曹参が蕭何の死後に対処しようとしたことと、鮑叔が管仲の死後までを考慮していなかったこととは、まるで正反対のようではあるが、ともに友人を心配する気持ちが強かった点では同じであるということ。
- ② 蕭何が曹参に宰相の座を譲ったことと、管仲が宰相の座に執着したこととは、まるで正反対のようではあるが、ともに後継者選びが国家の未来を決定する重大事だと考えた点では同じであるということ。
- ③ 蕭何が後継者に曹参を指名したことと、管仲が鮑叔を宰相に推薦しなかったこととは、まるで正反対のようではあるが、ともに親友に対する深い理解に基づくものだった点では同じであるということ。
- ④ 曹参と蕭何が仲たがいをしていたことと、管仲が鮑叔から常に恩義を受けていたこととは、まるで正反対のようではあるが、ともに相手への深い友情によるものだった点では同じであるということ。
- ⑤ 曹参が蕭何の推薦を得て後継者になれたことと、鮑叔が管仲の後継者になれなかったこととは、まるで正反対のようではあるが、ともに国家の将来にとってよい人事であった点では同じであるということ。